

## 幼児教育学科

科目名： 英語コミュニケーション				担当教員 氏名： 廣田 篤		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
幼児英語教育の現場で実際に必要な英語運用能力、および英語教授法の体得を目指す。						発音、歌、ゲーム、保育に関する表現、 教材製作
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			
			1. 2. 3. 5. 7. 8.			
A 知識・理解力	基礎的な英語表現を身につけ、幼児教育の現場で必要な英語運用能力を磨く。					
B 専門的技術	幼児が楽しく英語に触れることのできる英語教授法を自分たちで発案し、互いに検討しあい、教授スキルの向上を目指す。					
H コミュニケーション力	英語を実際に話すことに伴う緊張や恐れを克服し、英語コミュニケーション力を磨く。					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 45 %	レポート： %	発表： 45 %	実技試験： %	その他： 10 %		
特記事項： 日頃のペアワーク、グループワークへの積極的な参加が求められる(「その他」が平常点で、出席点を含む)。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 適宜採点、返却、コメント、復習のサイクルでフィードバックする。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①授業概要説明、Unit 7 She Is Allergic to Eggs.				[予習・復習]食材やレシピに関する表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
②Unit 7 She Is Allergic to Eggs.				[予習・復習]食材やレシピに関する表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
③Unit 8 You Should Go to the Bathroom				[予習・復習]「しなければならないこと」に関する表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
④Unit 9 We Made Masks Today				[予習・復習]降園時の会話に関する表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
⑤Unit 10 If It Rains, What Happens?				[予習・復習]仮定の表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
⑥Unit 11 What Shall We Do Today?				[予習・復習]時刻を表す表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
⑦Unit 12 I Feel Feverish				[予習・復習]病気や怪我に関する表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
⑧中間試験・発表題材の SCRIPT 完成(1)				[予習]Unit 7-12の復習 [復習]テストの見直し	予習30分 復習30分	
⑨答案返却と解説・発表題材の SCRIPT 完成(2)				[復習]テストの見直し・SCRIPTのチェック	予習30分 復習30分	
⑩発表準備(1) 各グループ毎に発表に向けて準備を進める				[予習・復習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑪発表準備(2) 同上				[予習・復習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑫発表準備(3) 同上				[予習・復習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑬発表準備(4) 同上				[予習・復習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑭発表会[前半]発表と他のグループの発表に対する評価・コメント				[予習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑮発表会[後半] 同上				[予習]発表の準備	予習30分 復習30分	
使用テキスト:『Happy English for Childcare 保育のための基礎英語』土屋麻衣子(2015), 金星堂, 東京. ISBN978-4-7647-4008-2				その他参考文献など:『新・保育の英語』森田和子(2010), 三修社, 東京. ISBN978-4-384-33399-2 C1082		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 毎回の授業に必ず英和辞書を持参してください(スマホやタブレットは使用不可、電子辞書は使用可。電子辞書は発音の確認にも便利)。授業への積極的な参加(特にペアワーク・グループワーク)を期待します。なお、授業中の質問は歓迎です。						